

平成30年度「ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト」  
読書活動支援者育成事業

# 第1回 会津地区研修会

会津教育事務所

- 目的：地域で子ども読書活動を推進するボランティアの資質向上を図り、学校図書館の支援もできる人材を育成する。
- 日時：平成30年7月31日（火）10：50～16：00
- 場所：福島県立博物館 講堂他
- 参加者：77名

## 分科会A 【読み聞かせボランティア】

喜多方市立図書館の取組 喜多方市立図書館長 須藤 薫 氏

- 事例紹介  
読書通帳 「こどもの読書週間」イベント  
たなばたフェスタ おはなしカーニバル  
ぬいぐるみのおとまりかい など
- 喜多方市立図書館ボランティア  
資料配架ボランティア  
読み聞かせボランティア  
ブックスタートボランティア  
講座講師ボランティア など
- 読書ボランティアとの連携について  
すずの音会 心に虹のおはなし会 読み聞かせ応援講習会の紹介



## 分科会B 【学校司書・図書館司書等】

ビブリオバトルとは 会津若松市立会津図書館 石井杏紗美 氏 田崎 彩夏 氏

### 1 ビブリオバトルの紹介



- ① ビブリオバトルのルール
- ② 会津ビブリオバトルの歩み
- ③ チャンプ本について

### 2 模擬ビブリオバトル体験



- 3人によるミニバトル
- 質疑応答

## 【 鑑賞・実践発表 】

読み聞かせボランティア「絵本の窓」稲垣 優子 氏 加藤 佳恵 氏

### 活動の概要説明

- 2003年より郡山市立緑ヶ丘第一小学校にて「よみきかせグループ 絵本の窓」を立ち上げる  
現在 会員 19名
- 年8回 担当学年を決めて実施  
12月にはクリスマスのおはなし会
- 東日本大震災後は「心と体のケアプロジェクト」に参加し、郡山市の子育て支援センターやペップキッズ等でも読み聞かせ活動を行う。

### 実践を重ねて

- 高学年の読み聞かせにおける選書の難しさ
- 読み聞かせボランティアの交流がもっと必要



手遊びの実演

## 【 講義・演習 】

### 「子どもと本を結ぶ楽しい読みきかせ」

講師 JPIC読書アドバイザー 宇野 君代 氏

- ◆選び方 発達年齢に合っていること  
時のテストを経た本（ロングセラー絵本）  
条件 ・会場 ・参加人数 ・季節  
・朝の読書・・・テーマの重いものは避ける
- ◆導入の工夫 手あそび 手ぶくろ人形 ことばあそび
- ◆見せ方 みんなに見えること  
ちゃんと開いてしっかり持つ  
見返しは、日常と絵本の世界の橋渡し  
ページをめくるのもおはなしのうち
- ◆読み方 ゆっくり はっきり 自然体で  
作者の文学を大切に  
多様な読み方  
・大型絵本 ・分かち読み  
読み聞かせはコース料理のように



### 【参加者の声】

- 図書館のユニークな企画の数々や地域の行事にも積極的に参加している姿勢がすばらしい。
- 厳しい環境での図書館運営の中、職員・ボランティアさん達の熱意が様々なアイデアを生んでいることに刺激を受けました。
- ビブリオバトルの運営が具体的に理解できたのでとても良かった。
- 人に勧められた本や熱意をもって話された本は心に残るし、読むきっかけにもなると思いました。
- 母として読み聞かせボランティアからスタートした苦勞など具体的にお聞きできて参考になりました。
- 高学年に読み聞かせというのはどうなのかという悩みをもっていたので、続けていいのだという安心感が得られました。
- 子どもだけでなく、母親へのおすすめ本や年代別のおすすめ本といった紹介がわかりやすく参考になりました。
- 悩ましい選書ですが、たくさんのヒントをありがとうございました。

